

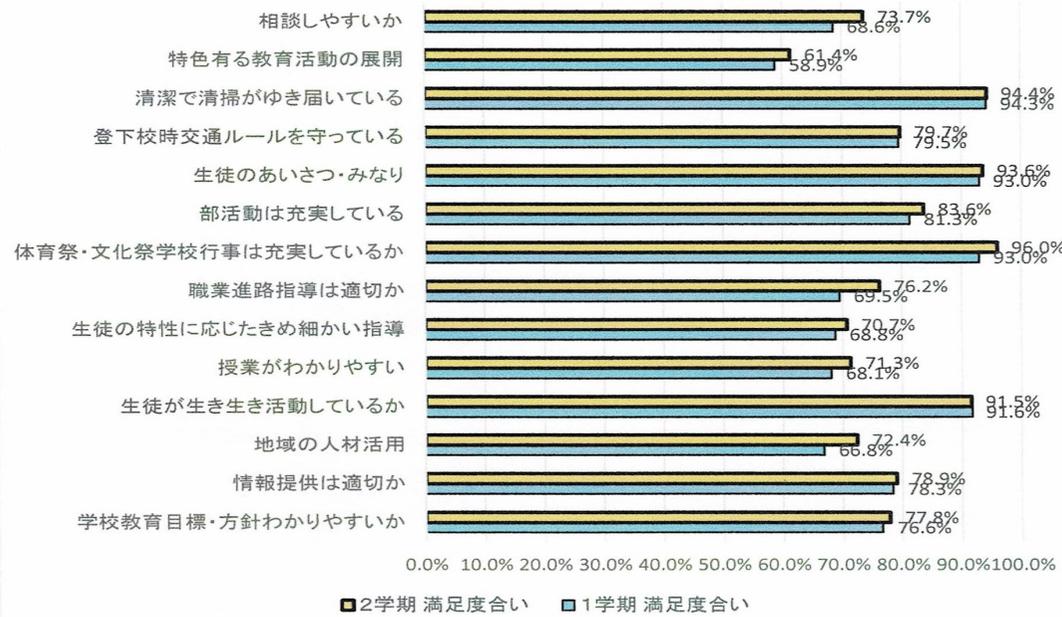


## 学校評価を受けての取り組み

2学期東部中学校は全校保護者の方に学校評価のアンケートを実施させていただきました。内容を分析し、職員に周知しました。また、これからの東部中学校の教育改革の資料として活用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

併せて毎学期、全校生徒へのアンケートおよびすべての授業に対して授業評価をしてもらい、その結果も職員に周知し、改善の資料にしています。これからも東部中学校の教育実践についてはその願いや取り組み、生徒の活動の様子等きめ細やかに情報を発信して参ります。保護者の方、地域の方々には生徒を育てるよきパートナーとして情報の共有と連携を密にしていけるように努力を重ねます。よろしくお祈りいたします。

### 保護者学校評価(良い+大体良い)%



### 【保護者の方の学校評価の考察と今後のとりくみ】

高い評価は①清潔な校内環境②学校行事の充実③生徒の活動の様子④あいさつ、身なりであり90%を越えている。一方、生徒へのきめ細やかな指導や、学習指導は70%台となり、特色ある教育活動、地域の人材活用が低い評価になっている。

文化祭や体育祭は充実しているとの評価が96%と高い評価である。生徒の生き生きとした取り組みを実際に見てもらえる場があると良いことがわかり、今後も生徒の活動の様子を公開し、保護者の方に学校に足を運んでもらえるように努力する。

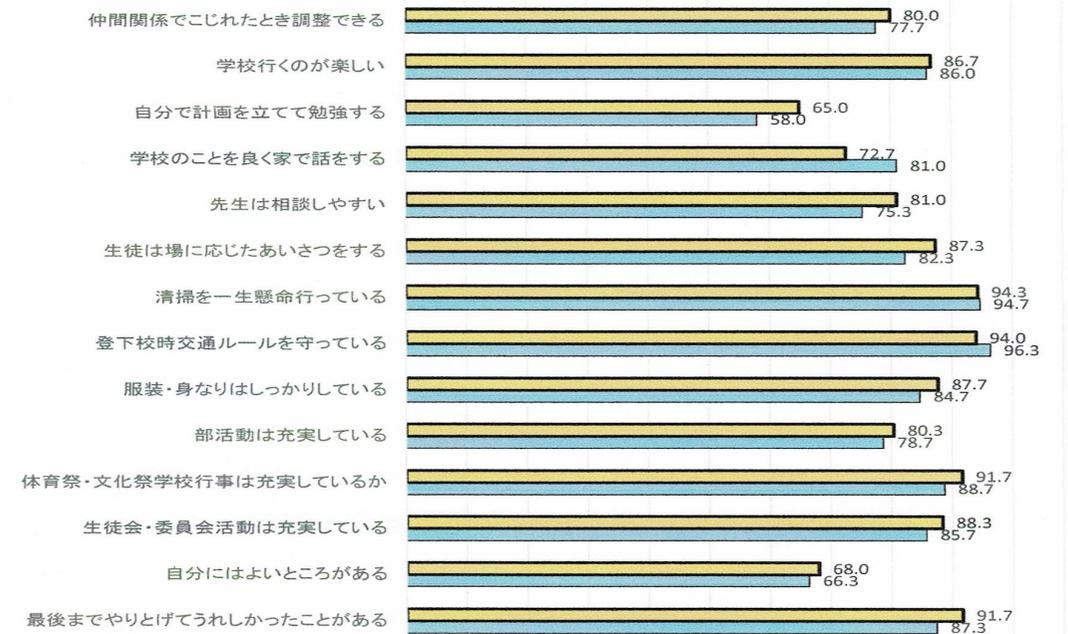
一方、授業についてはわかりやすいが76.2%と1学期より約+7%上昇しているが、80%を越える評価を目指していきたい。授業改革を進める一方、取り組みの紹介と授業

公開日の限定的な設定をする。(日程を広げると参観者が少ないために教室に入りづらいという意見があったため。)

相談しやすいかの問いには73.7%の保護者が満足している。+5%の上昇である。保護者と学校は子供を育てる良きパートナーとしての信頼関係を構築する必要がある。願いをしっかりと伝え、情報の共有を日頃より大切にし、お互いにカバーし合う関係を育てていきたい。気配りと連絡の丁寧さが大切であり、職員間の連携も大切である。

部活動についてはガイドラインに従って実施している。多くの保護者の方には、その趣旨を理解いただいているが、もっと長く活動をとの声もある。短時間で効率の良い活動とチーム作りの強化、そして活動の趣旨を保護者にしっかりと伝え、理解と協力を求めている。

### 全校生徒評価(思う+だいたい思う)%



全校生徒の意識調査では、1学期より2学期の方がどの項目も+2~+7程度向上している。2学期は、体育祭、文化祭など学級がひとつになって取り組み感動を味わえる行事がある。この行事を通して、学級の仲間づくりを進めることで、充実感・達成感を味わわせることができる。これからは生徒が主体になり、まじめさと温かさが追求でき、感動できる取り組みを進めたい。

あいさつと交通ルールについては生徒の意識は87%を越え、できるという意識だが、教師の意識は50%と1学期に比べ30%もできなくなっているという意識である。生徒と教師が同じ意識で大切にできるように生徒からの取り組みと教師からの意味づけ、取り組みを進めていくことが大切である。

自分で計画を立てて勉強をするは+7と成果が上がっている。授業の振り返りと家庭学習の計画作りを更に指導を進めることで家庭での時間の計画的な自己管理ができるようにしたい。①タイムスケジュール管理能力の育成②キャリア教育を通じた家庭学習の意義とやり方の指導③授業改革と生徒が自ら学ぶ力の育成の3つの方向性から取り組む必要がある。先生は相談しやすいは81%で+6である。教師評価では96%ができる+10となっている。教師の姿勢が着実に生徒の心情に表れていることを意味している。今後も大切にしたい。